

愛媛県歴史文化博物館

No.44

歴博だより

Museum of EHIME History and Culture's News

平成17年度テーマ展

おひなさま—人形と雛道具の歴史—

西条藩松平家の雛飾りをはじめ、さまざまな種類の雛飾りや人形、ままごと道具などを紹介します。



□平成17年度テーマ展「赤シャツ」と考古学

□常設展示リニューアル 昭和の街かど

□学芸員調査ノート 滝山城主・久保家の旗／納め札を入れた俵／須恵器 脚付三連鉢／道後温泉鳥瞰図

おひなさま

— 人形と雛道具の歴史 —

平成18年2月21日[火]～4月9日[日]



有職雛（西条藩松平家）江戸時代後期 当館蔵

春の訪れとともに、三月三日のおひなさまを飾る上巳じょうしの節句がめぐってきます。上巳の節句は、けがれを祓はらい人形を流す風習と平安時代の貴族の女兒の人形遊びとが結びついて始まったと考えられています。最初は簡素な人形でしたが、江戸時代に年中行事としてひなまつりが定着すると、次第に凝こったつくりになり、付属の人形も増えて華やかなものになっていきました。

当館ではひなまつりを祝って、今年も県内では数少ない大名家の雛飾りである西条藩松平家の雛飾りをはじめ、享保雛きょうほうひな、古今雛こきんひな、御殿飾り、変わり雛など多彩なおひなさまの姿を紹介いたします。また、端午たんごの節句に飾られた幟のぼり飾り、武者人形などの五月飾りも一足早く展示します。さらに、今回はおひなさま、雛道具だけではなく、市松人形からリカちゃん人形までそれぞれの時代の子どもたちが遊んだ人形や台所道具、ままごと道具もあわせて展示します。春のおだやかな一時、博物館の愛らしいおひなさまをどうぞお楽しみください。



左上>> 明治天皇・皇后変わり雛 明治41年 個人蔵・当館保管

右上>> 享保雛 江戸時代後期 伊吹八幡神社蔵

右下>> 古今雛 江戸時代後期 当館蔵

雛飾り



西条藩松平家の雛飾りは、京都の公家一条家出身で、9代藩主松平頼学よりの正室として迎えられた通子ほろが輿入れの際に持参したもので、公家の装束を正しく考証してつくった気品高い有職雛と両家の家紋が金の蒔絵まきゑで散らされた精巧な雛道具が雛壇にならびます。

また、陸軍大元帥りくぐんたいげんすいの正装の明治天皇と洋装の大礼服を着た皇后の変わり雛は、京都の老舗丸平こと、大木平蔵人形店で製作されたもので、全国的にみても珍しいおひなさまです。

この他、享保年間から寛政年間にかけて流行し、大型のものが多かった享保雛、寝殿づくりの御所を模した御殿を中心におひなさまが飾られる御殿飾りなど、様々なタイプのおひなさまを一堂に展示します。

ままごと道具



台所道具 明治～大正時代 当館蔵

五月飾り

五月飾りは、五月五日の端午の節句に男の子のお祝いに飾られます。江戸時代前期には屋外の家の門口に幟はしり、毛鎗なまや、薙刀ななどを立てましたが、中期には歴史上・伝説上の英雄をかたどった武者人形を加えて屋内に置かれるようになりました。今回のテーマ展では、屋内に飾る幟飾りとともに、神宮皇后と武内宿禰などの武者人形をあわせて展示します。なかでも、白馬に乗り、衛兵と卒を従えた明治天皇五月飾りは、「洋風新人形」の名にふさわしく明治という時代を体現しています。



明治天皇五月飾り (洋風新人形) 明治39年 個人蔵

テーマ展

おひなさま - 人形と雛道具の歴史 -

会期：平成18年2月21日(火)～4月9日(日)

休館日：毎週月曜日

(ただし、3月6日(月)、4月3日(月)開館、3月7日(火)休館)

会場：企画展示室ほか

観覧料：常設展示観覧料が必要です

* 中学生以下、65歳以上の方などは無料

「赤シャツ」と考古学

— 明治期の古墳発見 —



甲賀原古墳群出土須恵器脚付三連鉢
東京国立博物館蔵

松山中学時代の夏目漱石

赤シャツのモデル横地石太郎



明治29年愛媛県尋常中学校（松山中学）卒業生写真 松山東高等学校蔵

明 治期の松山を舞台として書かれた夏目漱石の小説『坊っちゃん』が発表されて今年で百年が経ちます。本展では、この小説に登場する「赤シャツ」のモデルとも言われる松山中学校教員の横地石太郎氏が、明治三十三年に報告した西条市甲賀原古墳出土遺物（東京国立博物館蔵）を中心に周桑平野の古墳文化について最新の調査結果をあわせて紹介します。

漱石が描いた「赤シャツ」の実像はいかに？

～平成18年2月12日[日]まで

昭

和三〇〇四〇年代の街かどが、博物館の常設展示のなかにできました。街かどには、ちよつとおしゃれな洋品屋さん、欲しいものが何でも揃った文具屋さん・本屋さん、ぼくたちの遊び場所だった駄菓子屋さんなど、懐かしい店がいっぱい。テレビ、冷蔵庫、洗濯機の三種の神器が登場したばかりの住宅もあります。あの頃にちよつとタイムトリップして、昭和の街かどの世界をお楽しみください。



常設展示リニューアル
昭和の街かど



資料名

滝山城主・久保家の旗
たきやまじょうしゅ くぼけ はた
 (大洲市指定文化財)

年代

戦国末期か



サイズ

長67.0cm×幅30.3cm

所蔵

久保茂子氏蔵／当館保管

これは、戦国末期、喜多郡滝山城（大洲市長浜町今坊）主であつた久保家に伝わつた旗です。白地の布に、上り藤の紋と熊野三所権現・日吉山王・八幡大菩薩などの神々の名が記されています。中央にある「三八十」の字の意味は定かではありませんが、何らかの信仰に関するものかもしれません。旗の上部は折り返して縫いつけられており、ここに柄を通していたようです。この旗が作られた時期は不明ですが、江戸時代後期の地誌

『大洲旧記』には同家に伝わつた甲冑・刀とともにこの旗のことが記され、古くから戦国時代の遺品としてよく知られていたことが分かります。ところで、この旗は下半分がねじ切られたようになっており、その部分に変色しています。これは、『大洲旧記』によれば、戦国末期、城主久保行春ゆきはるの長男が戦死した際、家臣が首を旗に包んで持ち帰り、下半分をちぎって墓に埋めたためと伝えられています。

（主任学芸員 土居聡則）

歴史・文書

民俗

考古

資料名

納め札を入れた俵
おき ふた い たわら
 2点

年代

明治〜大正時代

サイズ

(右) 幅四四cm／直径一四、五cm
 (左) 幅四三cm／直径一八cm

所蔵

当館蔵



二つの俵には、大量の納め札が入っています。納め札とは、遍路が参拝した際に札所へ納める札のことです。それが何故、俵の中に残っているのでしょうか？

それは、接待を受けた遍路が、接待した人々に返礼に手渡したためです。納め札には霊力があるとされ、俵に挟み、その俵を屋根裏に保管しておくこと、厄除け、火災除けになると信じられていました。

この俵は、宇和から八幡浜へ

の道沿いの若山（現八幡浜市若山）に残っていたため、当初は九州からの遍路の納め札ではないかと考えていました。九州からの遍路は、船で八幡浜港を利用することが多いからです。

しかし、俵から取り出した数枚の納め札には、九州以外の遍路のものもあります。よつて、若山での接待ではなく、札所と札所を結ぶ遍路道沿い等に出かけて接待をしたのではないかと推測されます。

（主任学芸員 宮瀬温子）

歴史・文書

民俗

考古

* 滝山城主・久保家の旗は歴史展示室2（「中世武家社会下の伊予」）に展示しています。
 * 納め札を入れた俵は2月下旬から民俗展示室3（「四国遍路」）で展示予定です。



資料名
須恵器 脚付三連鉢
(西条市甲賀原古墳群出土)

年代

古墳時代後期(六世紀)

サイズ

残存高六、五cm

所蔵

東京国立博物館蔵

今から約百年前の明治三三年、周桑郡吉岡村(現西条市上市)で地元住民が開墾中に古墳を発見しました。三基の古墳からは土器、装身具など各種の遺物約五百点が見つかりました。この須恵器はその中の一点です。

径五、五cm、高さ三、五cmの小型の鉢三個を連ね、脚部には透かし孔があります。また、鉢部にはそれぞれ径〇、三cmの孔があげられています。発見時に出土遺物を調査した横地石太郎氏は「下部破損して全形明ならさ

れとも三個の同大の碗品字形をなして(中略)各碗相接する処に於て底部に近く小孔を穿てり甚た珍しきものなり」と報告し、古墳研究が進んでいない当時においても珍しい資料としています。現在、県内での類例は一例増加していますが、全国的に数少ない事は変わりません。祖形は韓国釜山市福泉洞古墳群などで発見されている燈蓋形土器ではないかとされています。百年前に発見された資料ですが、調査課題は尽きません。

(主任学芸員 富田尚夫)



資料名
道後温泉鳥瞰図

年代

明治一四(一八八二)年

サイズ

縦三七、五cm×横五三cm

所蔵

当館蔵

松山藩が所有した道後温泉は、廃藩後に国有となり、県の監督下に置かれ、町民の代表が合議制で運営しました。

明治五年、老朽化した一、三の湯は、二階楼(後の神の湯)に改築され、当時の入浴料は、一の湯が昼五厘、二・三の湯が昼一厘でした。また、同一一年、特別湯として三階楼の新湯(後の霊の湯)が新築されました。

この絵図は、その頃の様子を描いたものです。編集は愛媛県津田安次郎、出版は大阪府の厨

万蔵、定価は五錢五厘とあります。道後温泉(二階楼、三階楼、養生湯)を中心に、牛湯、玉の石のほか、湯神社等の建物も詳細に描かれています。人力車に乗った人、傘をさした婦人、馬を連れた人など、多くの人々が集い、賑わっています。

その後、道後温泉は、道後湯之町初代町長伊佐庭如矢の尽力により、明治二〇、三〇年代に改築されました。そして、大正一二年に敷地が国から町に払い下げられ、現在に至っています。

(学芸員 平井誠)

*須恵器 脚付三連鉢は平成17年度相互貸借にて借用。2月12日までテーマ展「赤シャツと考古学」にて展示しています。
*道後温泉鳥瞰図は歴史展示室4(「愛媛県の誕生と歩み」)に展示しています。

季節モノ 図鑑 ⑦ ジュラルミン製湯たんぽ（せいゆ） 冬の夜をすごす

これは、暖房器具の少ない時代、冬の寒い夜を過ごすのに欠かせなかった湯たんぽです。かつては陶器製でしたが、昭和初期頃から金属製のものが出回りました。

この湯たんぽの特徴は、昭和二〇年代前半のジュラルミン製であることです。ジュラルミンは、アルミニウムと銅、マグネシウムなどの合金です。強度と軽さから、戦中は戦闘機の材料として使用されました。

戦後、残されたジュラルミンが出回り、様々な生活資料に代用されました。この湯たんぽからも、当時の人々の知恵と工夫、そして苦勞が伝わってきます。

（学芸員 平井誠）



※実際には湯たんぽを布などでぐるんで使いました。



ナウマンゾウの牙（今治市宮窪町沖採集）当館蔵

これってなんだろう？

現在、日本には野生のゾウはいませんが、約2万年前には、ベレー帽をかぶったような頭に突起のあるゾウが生息していました。

このゾウは、明治初期にドイツから日本へ招かれたエドモント・ナウマンによって研究されたことにちなみ、ナウマンゾウと命名されました。

その化石は、日本全国で見つかっていますが、愛媛県の近くでは、多くが瀬戸内海から引き上げられています。このことから当時は、瀬戸内海が陸地であったと考えられます。

皆さんも展示室にあるナウマンゾウの牙に触れて、太古の愛媛に思いをはせてみませんか？

（主任学芸員 亀井英希）

ちえのわ教室



からくりおもちゃ
でんでん太鼓を
つくろう！！

12月～2月のちえのわ教室では、紙管に和紙を貼り、持ち手をまわすとトントンと軽やかに音がる「でんでん太鼓」を作ります。好きな絵を書くと君だけのオリジナルの太鼓ができるよ。

日時：毎週土・日曜日 13:00～16:00
（受付は15:00まで）

場所：体験学習室
参加費：170円（材料費）
お問い合わせ：振興課企画普及係
0894-62-6222

じかいのよこく

3月～

たいそう人形を
つくろう！！



*ナウマン象の牙は歴史展示室1（「愛媛のあけぼの」）に展示しています。
*ジュラルミン製湯たんぽは歴史展示室4（「愛媛県の誕生と歩み」）に展示しています。

愛媛県歴史文化博物館・NPO法人e-えひめ協働事業

パソコン講習会★パソコンを楽しもう

★6はじめてのパソコン操作 (6時間)

- *パソコンがまったく初めての方及びそれに近い方が対象
- 実施日：2月24日(金)
 - 10:00～12:00 パソコンの基礎、キーボードマウスの操作
 - 13:00～17:00 簡単な文章の作成、簡単な図の描き方
- ◇受講料実費 2100円
- ◇テキスト・資料等実費 1000円

★7はじめての表計算ソフトExcelの利用 (12時間)

- 実施日：2月28日(火)
 - 10:00～12:00 表の作成と計算
 - 13:00～17:00 関数の使い方
- 実施日：3月3日(金)
 - 10:00～12:00 グラフ作成
 - 13:00～17:00 帳票作成と印刷
- ◇受講料実費 3800円
- ◇テキスト・資料等実費 1000円

★8インターネットを利用したやさしい金融講座 (6時間)

- 実施日：3月2日(木)
 - 10:00～12:00 インターネットと株式取引の仕組み
 - 13:00～15:00 パソコン利用模擬株式取引
インターネット利用銀行取引
 - 15:00～17:00 インターネットショッピング
インターネット安全利用
- ◇受講料実費 2100円
- ◇テキスト・資料等実費 1000円

★9ブログによる簡単自分ホームページの作成 (6時間)

- 実施日：3月10日(金)
 - 10:00～12:00 ブログの基礎とブログの作成準備
 - 13:00～17:00 ブログの作成と更新、広告の出し方
- ◇受講料実費 2100円
- ◇テキスト・資料等実費 1000円
- ◆募集人数 各18名
- ◆参加条件 キーボード文字入力ができる方 (★6除く)
- ◆場 所 愛媛県歴史文化博物館パソコン演習室
- ◆申込方法 ①氏名②年齢③住所④電話番号⑤講座番号 (★印の後の番号) をNPO法人e-えひめ事務局へご連絡ください。

お申し込み・お問い合わせ

NPO法人e-えひめ事務局
 TEL090-5141-0716(受付時間9時～17時)
 FAX(0897)53-8286
 〒792-0812 新居浜市坂井町二丁目3
 Eメール e-ehime@e-ehime.hearts.ne.jp

歴史文化講座

歴史講座

- 予土線はじめて物語
日時：3月5日(日) 13:30～15:30
講師：平井 誠 (当館学芸員)

文書講座

- 大洲藩の古文書を読む②
日時：2月19日(日) 13:30～15:30
講師：白石尚寛 (大洲市立博物館学芸員)

体験講座

- 裂織りでコースターをつくろう
日時：2月25日(土) 13:30～15:30
講師：松井 寿 (当館学芸員)
- 貝合わせをつくってあそぼう
日時：3月4日(土) 13:30～15:30
講師：宇都宮美紀 (当館学芸員)

◆申込方法

希望する講座名とご住所・お名前・年齢・電話番号など必要事項を記入の上、葉書やFAXなどでお申し込みください。定員の範囲内の場合は、博物館からご連絡いたしますので、各講座の開講時間までに博物館へお越してください。

お問い合わせ

振興課 企画普及係
 TEL(0894)62-6222 FAX(0894)62-6161

博物館休館日カレンダー

2月							3月								
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土		
				1	2	3	4					1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11	5	6	7	8	9	10	11		
12	13	14	15	16	17	18	12	13	14	15	16	17	18		
19	20	21	22	23	24	25	19	20	21	22	23	24	25		
26	27	28					26	27	28	29	30	31			

■：休館日

歴史文化博物館の定期休館日は月曜日(祝日の場合はその翌日)となっておりますが、試験的に平成17年4月～平成18年3月までの1年間、毎月第1月曜日は開館し、その翌日を休館日とさせていただきます。



今季の表紙 御殿飾り

江戸時代後期 当館蔵

屋根に手彩色が施された白木造りの御殿に、小さく素朴な雛人形がならんでいます。このような御殿飾りは、大坂や京都で江戸時代中期より飾られるようになりました。この御殿も大坂でつくられ、瀬戸内海を通じて八代村(八幡浜市)の庄屋菊池家にもたらされたことが箱書により分かります。

愛媛県歴史文化博物館 No.44
歴博だより
 Museum of EHIME History and Culture's News

発行日 平成18年1月31日
 編集/発行 愛媛県歴史文化博物館
 〒797-8511
 西予市宇和町卯之町四丁目11番地2
 TEL(0894)62-6222 FAX(0894)62-6161
<http://joho.ehime-iinet.or.jp/rekihaku>
 印刷 明星印刷工業株式会社